

受容から創造性へ

——日本近現代文学におけるスタンダードの場合

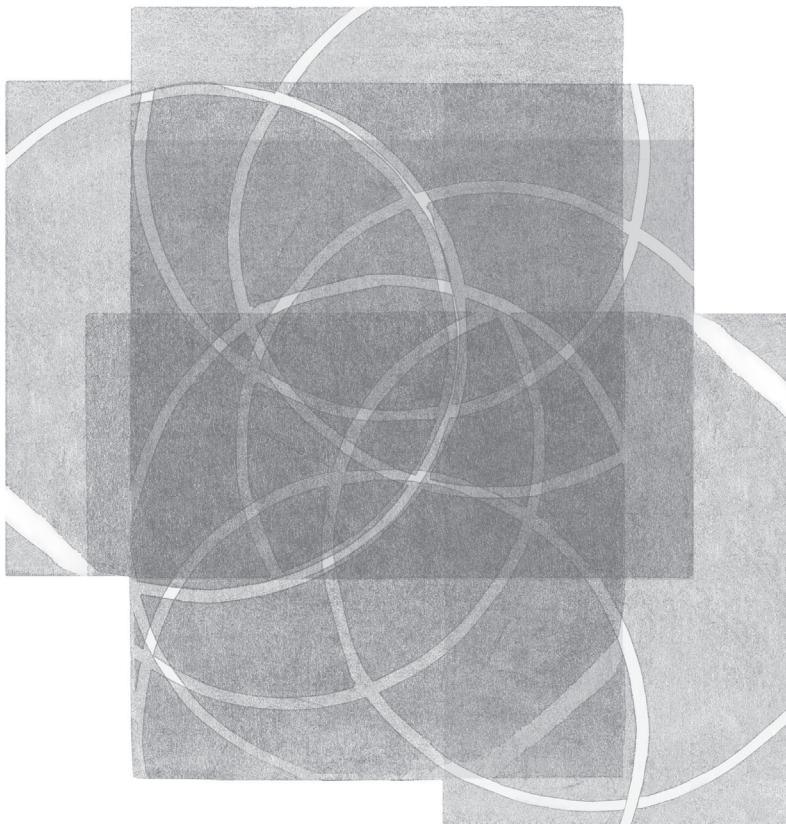
研究代表者 ジュリー・ブロック



受容から創造性へ

—日本近現代文学におけるスタンダードの場合

研究代表者 ジュリー・ブロック



目 次 受容から創造性へ——日本近現代文学におけるスタンダールの場合

本書について	7
プロジェクト概要	9
第1章 第一回研究会：日本におけるスタンダール「効果」	
1. 開会の辞	中川 久定 15
2. 緒言にかえて	マルク＝マチュー・ミュンシュ 17
3. 越境するスタンダール	フィリップ・ベルティエ 19
4. 大岡昇平「日本のスタンダール」にみるスタンダール 受容史の主題系：社会的觀念という背景	ジュリー・ブロック 23
5. スタンダールと翻訳の現在：『赤と黒』の場合	野崎 歓 31
6. スタンダール「作用」 ：生の作用理論に基づくスタンダール受容研究序論	ジャン・エレ 35
第2章 第二回研究会：〈私〉はいかにスタンダールを読んできたか	
1. 緒言にかえて	ペアトリス・ディディエ 43
2. 日本におけるスタンダール受容の問題 ：〈私〉はいかにスタンダールを読んだか	西川 長夫 47
3. スタンダール読者・批評家としての大岡昇平 ：彼の「根本的な態度」について	ジュリー・ブロック 55
4. 評論「ジュリアン・ソレル」が雑誌 『世界文学』の若い読者層に与えた衝撃	中川 久定 61
5. 彼女たちと彼：スタンダール研究における女性たち フランソワ・ヴァノストウイーズ	67
6. アンリ・ベールと妹ポーリーヌの手紙にみる〈創造性〉	岩本 和子 73
7. 読むことの記録：クレーヴの奥方とジュリアン・ソレル ジュリー・ブロック	79
8. 結語にかえて：ハイタカ ¹ の飛翔、 または東洋に向かうスタンダール	エリック・アヴォカ 83
第3章 第三回研究会：大岡昇平とスタンダール	
1. 緒言にかえて	ジェラール・シリ 91
2. 大岡昇平の原稿、校正、加筆・改稿	星野 紘一郎 95

3. 恋愛と結婚と：大岡昇平・スタンダール・司祭アンドレ	花崎 育代	101
4. 大岡昇平『野火』の受容について	ジュリー・ブロック	107
5. 大岡昇平「レイテ戦記」の現代性 ～文学と歴史のあいだ～	桜井 均	113
6. 『俘虜記』とスタンダール風の厳密さの理想	ミシェル・ド・ボワシュー	119
7. 大岡昇平『俘虜記』とスタンダール自伝作品	関塚 誠	125
8. 結語にかえて：『死者たちの声』、 『レイテ戦記』の記録映画	ミシェル・ド・ボワシュー	131

第4章 第四回研究会：翻訳作品における生の作用

1. 緒言にかえて	ミュリエル・デトリ	135
2. 開会の辞	フィリップ=ジャンヴィエ・カミヤマ	137
3. 大岡昇平『野火』における生の作用	マルク=マチュー・ミュンシュ	139
4. 『野火』の創作におけるヴェルレーヌの作用	ジュリー・ブロック	147
5. 上田敏の小説『うづまき』におけるスタンダールの作用	小川 紘子	155
6. ドストエフスキイの作品の翻訳における「生の作用」の働き	清水 孝純	159
7. 生の交差点としての『ベール氏研究』 ：バルザック、スタンダール、大岡昇平	松村 博史	167
8. 結語にかえて：「生の作用」理論をめぐる ディスカッション	ミシェル=ド・ボワシュー	177

第5章 第五回研究会：翻訳者の観点からみた生の作用

1. 緒言にかえて	フロランス・ローテル=リプシュタイン	181
2. 翻訳者としてのスタンダール	クラウディオ・ガルデリージ	183
3. スタンダールからスタンダールへ：『赤と黒』の ドイツ語翻訳にあたっての問題点	マイケル・ジャコブ	187
4. 邦訳の際の校訂版の活用について：『赤と黒』を例に	杉本圭子	195
5. シャトーブリアンを日本語に翻訳する	小野 潮	201
6. 二十年を経て『武蔵野夫人』の翻訳を再読して	ティエリ・マレ	207
7. 大岡昇平『わがスタンダール』を翻訳する ：引用の効果	ジュリー・ブロック	213
8. 結語にかえて：翻訳、陰と光の問題	コリーヌ・アトラン	221

第6章 第六回研究会：芸術学としての文学研究のために

1. 緒言にかえて：生の作用から見た比較文学研究	フランソワーズ・ラヴォカ	227
2. 言語の中の異邦人		
：文化間の他者性と文化内の他者性	フランソワ・ルセルクル	229
3. 魁るドストエフスキイ	駒井 稔	235
4. シャルル・クロ受容の問題		
：または読まれることの条件についての考察	福田 裕大	241
5. スタンダール、モラリストたちと演劇修業	ペアトリス・ディディエ	249
6. スタンダールのアラビア	柏谷 祐己	257
7. ロラン夫人の『回想録』		
：理想の読者を代表する「幸福な少数者」	山本 明美	263
8. 水の中の酸素		
：あるいは翻訳における不思議な化学反応	イヴ=マリー・アリュー	267
9. 小林秀雄の「モオツアルト」		
：象徴派の好敵手、スタンダール	高木 信宏	273
10. スタンダールの小説における絵画の役割とその重要性		
：人物描写の問題を中心に	小林 亜美	281
11. 『武蔵野夫人』の受容について		
：ふたつの「合評」をめぐる考察	ジュリー・ブロック	287
12. 結語にかえて	フィリップ・ベルティエ	293
執筆者一覧		295

財団法人国際高等研究所と高等研報告書

財団法人国際高等研究所は、科学技術の発展に伴う人類社会の諸問題を解決するため、既存の学問領域を超えた多面的な研究活動をおこなっています。その研究を通じて得たさまざまな研究成果情報を集積・加工し、学術出版として情報発信をしています。

高等研報告書は、研究代表者の提唱する交錯型の研究課題に、分野の異なる専門家が参加する研究共同体が数年間取り組んでまとめた研究成果を中心とする国際高等研究所の学術報告です。

財団法人国際高等研究所 所長 尾池 和夫

高等研報告書 1202

受容から創造性へ ——日本近現代文学におけるスタンダールの場合

ISBN978-4-906671-92-2

発行日	2013年3月12日 初版発行
研究代表者	ジュリー・ブロック
発行	財団法人国際高等研究所 〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地 Tel. 0774-73-4000 Fax. 0774-73-4005 http://www.iias.or.jp
編集・制作 印刷・製本	実業印刷株式会社

無断で転載・複写する事を禁じます

© International Institute for Advanced Studies
Printed in Japan

高等研報告書 1202 <130312>
受容から創造性へ

研究代表者 ジュリー・ブロック

ISBN978-4-906671-92-2
C3098

定価：本体 3,100 円+税